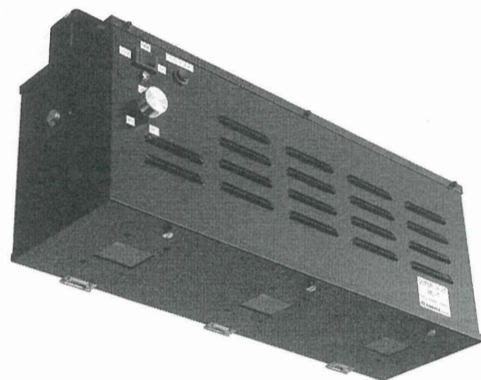


次世代のPT・MT

ソリューションも続々開発!

マークテック

マークテック(株)(東京本社)東京都大田区大森西4-17-35、☎03-3765-1712は、創業以来、「非破壊検査事業」並びに「マーキング事業」における製品とサービスの提案を通じて、ユーザーの品質保証活動に寄与している。



紫外線探傷灯(ブラックライト)
「スーパーライトML-7」



ポータブル硬さ試験機「MTH-1000L」

今後は、磁粉液の濃度調整を自動で管理できる機能の追加や、画像処理の更なる高度化を図るため、AIの採用も視野に入れているとのこと。消耗品の面では、濃縮磁粉液について海外でニーズの高いAMS規格への対応が完了済み。事業のグローバル化に順次対応を進めているとのこと。このような顧客の多様なニーズに

マークテックは、これまで画像処理技術を用いた「自動車部品全自動磁粉探傷装置」や、画像処理装置とマーキング装置が組み込まれた全自動角鋼片磁粉探傷システム「スーパーラインマクナ」などを展開している。「自動車部品全自動磁粉探傷装置」は、自動車部品検査の定量的評価及び自動判定を実現。画像処理の採用により合否判定が一定となるため、ヒューマンエラーを防止することができ。また、三極コイルの採用により走間・非接触の検査が実現し、検査工数の低減を可能にしている。また、「スーパーラインマクナ」は、長手方向(L)、周方向(T)の傷を同時に検出し、検査の効率化を実現している。

最適なソリューションを提供する姿勢の下、7月に開催された非破壊評価総合展では、新製品の紫外線探傷灯(ブラックライト)「スーパーライトML-7」及び、ポータブル硬さ試験機「MTH-1000L」(※近日発売予定)を出展し、来場者の注目を集めていた。

「スーパーライトML-7」は、同社オリジナル「レンズ構成」の採用により、UV-LED光源の使用数3個を実現し、ランニングコストの低減を実現。特殊なレンズ構成で横方向に対して広い範囲の照射が可能であり、ビレットや棒鋼、線材などの長物材料やシャフト製品の検査に適している。